No. 24 移住者からの感想について（平成 30 年 3 月受付）

<p>内容 (原文)</p>	<p>私は大多喜に移住して1年と半年に成ります。 感じた事。民家の周辺の電灯が不足しています。水道代が他地域にくらべて高い！！若者が好む店が少ない。食材はオリブにて揃いますが、それ以外の物は、茂原迄行かないと揃わない。宿泊施設も無く、いすみ鉄道の料金、小湊鐵道も同じです。高すぎます！！</p>
<p>回答</p>	<p>民家の周辺の電灯が不足しているとのことですが、防犯灯の新規設置については、毎年多くの地区から要望がございますが、町の設置基準を満たすもので、優先順位の高い場所から状況に応じ増設しているところです。優先順位選定については、各区から提出される要望を一度9月末で締め切り、要望箇所の昼夜の現地調査や通学路の安全確保も考慮し、優先順位の高い箇所から順次設置しているところです。</p> <p>次に、水道代が他地域から比べて高いとのことですが、本町は給水人口が少ないこと、面積が広く起伏のある地形であるため加圧施設、減圧施設など多くの施設が必要なこと等により、水道加入者の皆様から現在の料金をいただき、事業運営を行っています。今後も施設の適正な維持管理、更新を実施し、安全で良質な水の安定供給に努めてまいりますので、ご理解くださるようお願いいたします。</p> <p>次に、若者が好む店が少ない、食料品以外は茂原まで行かないと揃わないとのことですが、町の商業施設は、大多喜町城下商店街、中野商店街、国道 297 号線沿いを中心に集積しておりますが、大型店への顧客流出、消費者ニーズの多様化・高度化が進むとともに商業者の高齢化・後継者不足といった課題もあり、商業環境は厳しく、事業所数や商品販売額が減少している状況であります。地域の生活利便性の維持、定住環境の確保、交流人口の増加といった点において商業機能を維持することが不可欠であることから、町と商工会や商店街、観光分野との連携強化などにより、商業の魅力向上を図っていきたいと考えております。</p> <p>次に宿泊施設が無いとのことですが、本町には、町を代表する観光名所の一つであります養老溪谷温泉に8か所、古民家を活用した宿泊施設など各地に点在しており、合計で18の宿泊施設が存在しています。町では、多くの観光客を呼び込み、観光客等の利便性の向上を図るため、情報発信や特産品の活用など各事業者と連携し、事業に取り組んでいるところです。</p>

次に、いすみ鉄道、小湊鐵道の料金が低いとのことですが、いすみ鉄道及び小湊鐵道は、本町における重要な公共交通機関となっています。

乗車料金につきましては、鉄道事業法の規定により国土交通省の認可を得ることとなっており、事業者により乗車状況を勘案のうえ、利用者の利便性を損なわないよう配慮されながらも、経営の維持に必要な料金として同認可を得たうえ設定されているものです。町としましても、地域公共交通の維持確保のため、また、利用増進を図ることを目的とした事業者支援及び利用者助成等も行っております。

利用者助成のひとつとしては、いすみ鉄道が行うシニア会員優待制度への助成を行っています。この制度は、会員登録いただいた60歳以上の方が対象となりますが、大多喜町内の駅であれば1回100円で乗車できますので、是非、御登録のうえ御利用いただければと思います。